

## 【第5回 島根県地震津波防災対策検討委員会】議事要旨

日時：平成29年8月30日 13:30～16:00

場所：市町村振興センター 6F 大会議室

出席者：河原委員長、浅田委員、岩井委員、高橋委員、林委員、村上委員、横田委員

**議事** ※ページ数（p.）は特に説明が無い限り「概要説明資料」のページを示している

- ① 本委員会での検討事項とスケジュール（p8）
- ② 前年度検討事項（p2～p23）
- ③ 地震津波被害想定および災害シナリオ p24～p59
- ④ 島根県地震・津波防災戦略 p60～p71
- ⑤ その他

### ■主な意見等

#### ①本委員会での検討事項とスケジュール（p8）

特になし

#### ②前年度検討事項（p2～p23）

○浜田市沖合という表現では、一般の人は断層かどうか判断できない。

○「地震・津波」と「地震津波」では意味合いが違う。表記の仕方が混在している。

#### ③地震津波被害想定および災害シナリオ p24～p59

○データが無いエリアなのに、そこを開発する際に安全だから大丈夫といった使われ方をしているケースがある。公表の際には補足説明をしてはどうか。

○人的被害で、死者0（168）人という表現を用いる場合は、補足説明をしてはどうか。

○建物被害で揺れに対する被害の増加に比べ液状化の被害の増加が小さいのは何故か。

○浜田市沖の地震で、前回調査に比べて今回の結果は、道路の浸水は増えている一方で人的被害は増えていないがなぜか。

○数字だけが先行する可能性がある。根拠を明確にした方が良いのでは。東北大震災の結果を参考にしてはどうか。

#### ④島根県地震・津波防災戦略 p60～p71

○p62 の津波避難は、津波あるいは津波浸水とするべき。

○耐震化については、一室耐震化という方法もある。

○防災効果を判定する為のデータを収集するのは難しく、正確な判定が出来ないのではない  
か。

○p67 の建物耐震化の数値については、耐震化後の数字なのかわかりにくい。注釈等追記し  
た方がよい。

○F◇◇のFは断層という意味合いであり、Fを外すのであれば断層という言葉を入れな  
ければならない。

#### ⑤その他

特になし

以上